

CMSC群馬・荒井選手、堂々の2位。

'88JMSダートラシリーズ第3戦

5月15日
鈴鹿サーキット

IN 鈴鹿

雨の降りしきる5月15日、JMSダートトライアルツアーシリーズの第3戦が鈴鹿サーキットで行なわれた。当日のコースコンディションはヘビーウェットで内周部はほとんど泥沼と化しているほど。そんなヘビーなトライアルの中で、1本目のベストタイムをマークしたのはギャランVR-4に乗る長井選手であった。第2戦で3位に入賞するなど、このところ好調な走りを見せているCMSC群馬の荒井選手は、他の選手に貸したタイヤが、自分の走行順までに戻ってこないといったアクシデントのため、1本目のトライアルには出走できず。通常であれば、これでくさってしまったり、動揺を見せてしまうところだが最近では乗っている荒井選手、少しもあわてずに2本目のトライアルに一発勝負をかけた。

万を期してスタートした2本目、本人は抑えながらの走行とのことであったが、1分36秒51の好タイム。優勝こそ逃しはしたが、一発のトライアルで堂々の2位入賞を果たした。荒井選手はこのシリーズの活躍の他、各地でのダートトライアルでも好成績をあげ、CMSCチャレンジカップのスラローム部門でも現在トップを独走中。ハイパワーVR-4はダートラでも実力を発揮中といったところである。



第3戦で2位に入賞した荒井選手のバワフルな走り



CMSC山形よりエントリーの砂塚選手



表彰式でなごやかな表情を見せる荒井選手(左端)

荒井選手(CMSC群馬)3位、VR-4上位独占。

'88JMSダートラシリーズ第2戦

4月16~17日
テクニクスステージタカダ

IN 広島

ぐちゃぐちゃの鈴鹿とは全く対症的なカラカラのドライな状況で行なわれた第2戦は、4月16日~17日広島県高田郡にあるテクニクスステージタカダにて開催された。16日の公開練習は好天すぎるほどの天候となり、自分のホコリでコースが全く見えなくなるといった状態。決勝当日は主催者によるコース整備のおかげでホコリもおさまりと安心。約5,000人のギャラリーが見守る中、山内伸弥選手のギャランVR-4の試走を皮切りにトライアルはスタートした。

ハイパーギャランの独壇場となったA-IIクラスは、関西の雄、西尾ギャランが1位、2位には、やはり関西のトップコンテnder小泉選手が入るといった中、群馬より850kmの道のりをはるばる参戦したCM



好調な走りて2戦目にして3位入賞の荒井選手



CMSC島根からも応援に駆けつけた。

SC群馬の荒井選手が大健闘を見せ3位入賞と好成績を収めると共に、ギャランVR-4がシリーズ連続Vと上位独占をものにした。

ぐちゃぐちゃトライアル参戦記

CMSC群馬

荒井信介



鈴鹿サーキットモトクロス場で行なわれた才3戦は、雨でぐちゃぐちゃのトライアルとなった。久しぶりの鈴鹿、それも雨ですこし不安はあったものの、そんなことは言っていない。1トライ目はちょっとした手違いで走行できず、くやしい思いをした。

どンドンと悪くなる路面を見ながら、やっと2トライ目、あせる気持ちをおちつかせながらスタート。

外周に入ってびっくり、わだちがはなばでなく、車が浮きそうなほど、内周は無理をしたら大きくタイムロスすると言いつつ聞かせながら走行。タイムを聞くとベストタイム。やったと思いつつパドックへ。結局湯本選手に抜かれてしまったが、第2戦より1番上がっての2位入賞は上出来。後半4戦の応援ヨロシク。

CMSC青森・大西ギャラン、CMSC札幌・千田ミラージュ CクラスBクラス揃って3位。

全日本ラリー選手権第2戦

4月2~3日
宮崎県

ひえつき'88

全日本ラリー選手権第2戦「ひえつき'88」が4月2-3の両日宮崎県椎葉村で開催され、三菱車が2クラス完全制覇を達成すると共に、CMSC青森の大西選手がCクラス3位に、またCMSC札幌の千田選手がBクラス3位と、クラブ員が上位入賞を果たした。

ひえつきのコースは、昼間の第1ステージと夜間走行の第2ステージに大きく分けられるが、今回は序盤戦よりギャラン独壇場とも呼べるレースであった。前半の7区のSSでは、大西、大庭、井上、加勢の4台のギャランによる目まぐるしいトップ競いが続き、前回優勝の綾部ブルーバードは、SS6でのみ4台のギャランと同タイムでのトップに何とか顔を出した以外は、ギャラン勢に対し全く歯が立たないといった状態。第1戦で惜しくも優勝を逃した大西選手は、第1ステージを終了した時点で、3位とまらずのポジションをキープ。夜間ステージでの走



第1SSを走る、3位入賞の大西ギャラン

りを期待された、猛チャージを開始した桜井ギャランに逆転を許し、3位で競技を終了した。

またBクラスでは、CMSC札幌の千田選手の乗るミラージュが第1ステージ4位で折り返し、第2ステージのSSのうち、SS10以外のすべてを1位で走り切る快走をみせ、田ロミラージュ、片岡ミラージュに続いて3位に入賞した。



CMSC青森・大西選手(右)



CMSC札幌・千田選手(左)



第2戦Bクラス3位に入賞した千田ミラージュ

CMSC青森・大西ギャラン、コースアウトに泣く。

全日本ラリー選手権第3戦

5月14日
愛媛県

ツール・ド・四国

ギャランVR-4の圧勝に終わった「ひえつき'88」に続く全日本ラリー選手権の第3戦は、舞台を愛媛県に移し、5月14-15日に行なわれた「'88ツール・ド・四国」。前戦で、戦力の高さを証明したギャランVR-4は、その参加台数を徐々に増やし、今回はCクラス参加車輛34台中13台を数えるほど。ラリーは2ヶ所のラリー区間とダートトライアルコースで行なわれ

る2本のSSから成る第1ステージと、6本のSSを含む山間の第2ステージが組まれたコース設定。第1ステージをトップで上がったのは、今シーズン好調の大西康弘ギャラン。第2ステージに入っても、最初のSS3でベストタイムを記録。しかし続くSS4で痛恨のコースアウトをしてしまい残念ながらリタイアしてしまった。また第2戦でBクラス3位に入賞したCMSC札幌の千田ミラージュも、中盤で同じくコースアウトしてしまい姿を消してしまった。CMSC勢は今回、トラブルに泣く選手が多く富士選手も19位で終わった。第4戦北海道での雪辱を期待したい。



第1レグはトップの大西選手だったが……

CMSC山形・砂塚選手、桜井選手(キャロッセ)を押えて優勝!

C地区・シリーズ予選第1戦

3月20日
丸和オートランド

トライアル・ド・ニッポン'88

オールスターダートトライアルの出場権をかけたC地区のシリーズ予選第1戦「トライアル・ド・ニッポン'88」が3月20日丸和オートランド那須のコースで開催された。注目のAIIクラスは、ダートラもギャラン時代を反映して、ギャランVR-4の大拳エントリー。そんな参加者の中に'87全日本ラリーCクラスチャンピオンの桜井選手の姿も。トライアル1本目は、その桜井選手が激しいアタックを見せ、見事ベストタイムをマークして2本目のトライアルへと進んだ。2本目に入ってもラリースト桜井選手は順調にタイムアップをし、優勝を決定づけたかに見えたが、その前に立ち上がったのがCMSC山形の砂塚明男選手。ダートトライアルの意地を見せる快



ダートトライアルの意地を見せた砂塚選手

心の走りを見せ見事逆転し優勝! また4位にはCMSC群馬の荒井介信選手が入り1位から5位までをギャランVR-4が占めダートラでの強さを見つけた。



左より荒井、砂塚、桜井の各選手



砂塚選手の力強い走り

パワー全開！快進撃を続けるCMSC。

●今シーズン主だった入賞

- 4/17 B地区(東北)選手権第1戦 トライアルin岩手
優勝 金田 至(CMSC山形)
2位 鈴木功敏(CMSC福島)
- 4/17 G地区(四国)選手権第2戦 '88アタック・ザ・ダート
優勝 白井 修(CMSC香川)
- 4/24 C地区(関東)選手権第3選 TWSダート・トライアル
優勝 荒井信介(CMSC群馬)
- 5/5 B地区(東北)選手権第2戦 北斗ダート・トライアル
優勝 金田 至(CMSC山形)
2位 鈴木功敏(CMSC福島)

「88年はCMSCにとって飛躍の年」という外川会長の年頭あいさつの言葉どおりに、今シーズンは各地でクラブ員の活躍が目立っている。中でも好調なのがギャランVR-4が出走するダートトライアルのA-IIクラス。今号のトップで紹介したJMSシリーズ戦での荒井選手の活躍の他、B(東北)地区選手権第1・2戦での金田選手(山形)鈴木選手(福島)の2戦連続1、2位独占、四国で行なわれたG地区選手権第2戦で

の白井選手(香川)の優勝など、各地区大会でも優勝を始め上位入賞といった好成績が目白押し。ハイパワー車とそれを見事にコントロールするクラブ員のテクニックが一体になっての結果だが、各地でCMSC台風は衰えることを知らない勢いだ。また同時にクラブ主催のイベントもますます盛況。シーズン後半も各地でCMSC主催のダートトライアルが予定されており、会員の活躍が期待されている。

8	21	島根	●'88CMSC島根ダートトライアル(日本海チャンピオンシリーズ第6戦)
	21	帯広	●第4回AMC杯CMSCダートトライアル
9	11	岩手	●岩手三菱ダイヤモンドトライアル(県シリーズ第6戦)
	25	香川	●'88CMSCダイヤスタートトライアル
10	30	帯広	●CMSC帯広ダートトライアル

CMSC山形・金田選手、地元の期待に応え見事優勝。

CMSC山形 4月10日

'88CMSC山形ダートトライアル

CMSC山形主催のダートトライアル山形県シリーズ第1戦が、4月10日東根特設コースにて開催され、好天の中、140名のエントリーを集める大盛況ぶりであった。当日はCMSC本部より外川会長と木全氏にかけつけていただき、テクニックからマナーにいたるまで心温まるアドバイスをいただいた。

コースはハイテクニックとハイスピードを兼ね合わせた、まるで1000湖ラリーのスペシャルステージを思わせるようなコース設定。注目のAIIクラスでは優勝候補筆頭の金田至選手がニューマシンのギャランVR-4のポテンシャルを見事に引き出し期待に応え優勝、2位にもVR-4が入り、その性能の高さを明らかにした。CMSC山形・小川会長の「ともかく安全なコース設定の中でのアクセル全開を楽しんでもらえたら」の思いが通じた競技会であった。

(CMSC山形 蜂谷重則)



AII優勝の金田選手、総合でも1位



三菱賞に輝く金田選手(左端)



CMSCを代表して挨拶する外川一雄会長



本部より応援の木全氏

総数129台エントリーを集め盛大に開催。

CMSC群馬 5月8日

'88CMSCトライアルin群馬

群馬ダートトライアルシリーズ第3戦として5月8日に関東スポーツランドで行なわれた今イベントには、群馬県内だけでなく近県からも多数のエントリーがあり、参加台数は前年を40台以上も上回る129台と盛大な大会となりました。コース状態は前日までの雨による水たまりが残るウェットでスタート。2本目には一部ウェットが残るものの多少ほこりのでるドライな路面となり、今回初めての試みとしてつくった「中間ベストラップ賞」を目指して、参加者はアクセル全開の走りを満喫していました。三菱車のエントリーはVR-4が3台、ランサー1台の計4台。結果は、屋敷紀子選手がレディスクラス5位、番田高明選手がAIIクラス5位、久野幸也選手がCII&Dクラス3位に入賞。CMSC群馬主催のイベントも終り、各自の目標に向け頑張りたいと思っています。

(CMSC群馬 高橋壮吉)



CII&Dクラス3位の久野選手



三菱賞2位の高田選手



三菱賞の左より高田、久野、屋敷の各選手



レディス部門5位屋敷選手

CMSC札幌・千田選手ギャランで優勝。吉川選手も3位入賞。

北海道チャンピオンラリーシリーズ第4戦

6月12日 エンジョイラリー

ウインターラリーでの3戦を終え、ダートのディラリーで争われたシリーズ第4戦は、ラリーステージ6ヶ所、SS8ヶ所の設定で、6月12日開催された。ラリーステージ3ヶ所終了後のSS1では、千田ギャランがトップタイムをマーク。2番時計に5秒の差をつけ、千田速しを見せつける。中盤に入っても千田選手の好調は続きSS3、SS4、SS5、と連続でト

ップをマークし独走体制。同じくCMSC札幌の吉川ギャランも、SS3、SS4、SS5でスタックをしながらも3番手につける好走を見せた。ハイスピードのSSの中、新人浅沼ギャランもSS1で3番時計を出すなどギャランのハイポテンシャルが評価されたラリーであった。



3位のCMSC札幌・吉川選手



優勝のCMSC札幌・千田選手のギャランVR-4

悪コンディションの中、思い思いの走りを満喫。

CMSC香川 5月22日

'88CMSCアストロトリアル

5月22日香川スポーツランドにて、JMRC四国ダートトリアルシリーズ第4戦、'88CMSCアストロトリアルが行なわれた。当日は、あいにくの雨模様で時折激しく降る中、今シリーズ最多79台の参加があった。そのうち三菱車は10台で、VR-4、ランサーICが各5台ずつであった。コースコンディションは最悪、ヌタヌタ路面の中、各ドライバーは、必死にマシンをコントロールし、タイムを競いあった。A-IIクラスではパワーのギャランVR-4とコントロールのファミリアの対決となり、結果として今回のような路面では、車重の軽いファミリアに分があったようで、VR-4は田中和男選手が3位に、東谷勉選手が6位に入るにとどまった。またC-IIクラスに参加した2台のランサーICは、今回の路面ではそのパワーを生かし切れず、コントロールに苦しんでいた。



パドックで2走目を待つ参加車輛

四国では、今シーズンより主催クラブ員の参加が許され、CMSC香川より参加した高竹優之選手、小野隆徳選手、土岐孝司選手はギャランVR-4でA-IIクラスでそれぞれ8位、15位、17位と、もう一步の成績でしたが、思い思いの走りを満喫していました。以上のように戦績は、あまり芳しいものではありませんでしたが、例年に比べ三菱車での参加者が増えたことや、恒例の三菱賞に新顔のギャランVR-4がズラリと顔を出したことを考え合わせると、今後のそして来年の活躍が期待されます。

(CMSC香川 平尾高正)



雨天候に悩まされた香川スポーツランド



CMSC香川・小野隆徳選手の走り

アドバンチームの山内伸弥選手を迎えなごやかに開催。

CMSC栃木 6月5日

'88スリーダイヤモンドトリアル

'88年6月5日、日光スピードパークに於て、CMSC栃木主催の'88スリーダイヤモンド・トリアルが行なわれた。

今年は、特別ゲストに山内選手を迎えることができ、参加者には、大きなプレゼントになった。さて、競技は、山内選手のエキジビション走行後に行なわれ、1回目トライから熱の入ったものとなった。し

かし、さすがにA I、A IIクラスでは、山内選手のタイムは破れず、改めて、ギャランの速さを認識させられた。A IIIクラスでも山内選手のタイムは破られず、ゼッケン84の萩島選手のギャランがかるうじて山内選手のタイムを破った。

昨年のトリアルでは、悔しい思いをした三菱ファンも、ギャランの登場で非常にうれしく思っていると感じさせるギャランの速さだった。また競技中には、山内選手のサイン会、競技終了後には、同乗走行会と、盛りだくさんのトリアルとなった。

(CMSC栃木 青木)



ドライバーズミーティングでの山内選手



A III優勝の萩島孝選手



同乗走行をする山内伸弥選手



三菱賞の左から萩島、原田、萩島選手



三菱賞2位の原田尚幸選手の走り

ミラージュカップ仕様車でジムカーナ初体験。

CMSC埼玉 ラリーアート・ジムカーナ練習会

去る4月2日出筑波サーキット常設ジムカーナ場に於て、第1回ラリーアートジムカーナ練習会が開催され、CMSC埼玉がコーススタッフを担当しました。

当日は、雨が心配されましたが、どうにかドライな路面での走行会となり、学生、OLから年輩のドライバーまで約80名が参加。ラリーアートが主催ということで、非常に華やかな雰囲気に包まれ、隣のレース場よりジムカーナ場の方が目立っていたほど。

通常のジムカーナ競技会であれば、コマ何秒の競いでビリビリしがち。しかし、そこは練習会。参加者の7割がジムカーナ初体験ということで、簡単にしたはずのコースでもミスコース続出ながら、参



終了後、講評をのべる山本講師

加者全員が新しいミラージュカップレース車を充分に楽しみ、試乗した1日でした。

(CMSC埼玉 入田 耕)



出走車をチェックするCMSC埼玉のスタッフ



参加者はミラージュカップ仕様車を楽しんだ。

トップドライバーとの同乗走行が大好評。

CMSC青森 ドライビングスクール

クラブ員のテクニック向上と、他クラブとの親睦を目的とした、CMSC青森ドライビングスクールが5月3日青森市、月見野スポーツランドにて開催された。当日はCMSC本部より木全巖氏、田口雅生氏が参加、走行後参加者一人一人へ細かいアドバイスをを行った他、アドバンチームの大庭、藤田選手、当クラブの大西、館山、福士選手による同乗走行なども行なわれた。トップドライバーの同乗走行には、ギャラリーからの申込みもあり、オフィシャルがてんこまいするといったシーンも。終了後、参加者へのプレゼントもあり、参加者やギャラリーからは、ぜひ又開催をとの声も強く、地域のモータースポーツへの貢献に寄与したものと確信しています。今後ともCMSC青森をよろしく。

(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)



同乗走行をする大西選手



大西康弘選手



本部木全巖氏(右端)によるキメ細かな講評が好評



福士文秀選手



館山正嗣選手

初主催イベントながら"みんなの輪"で無事終了。

CMSC仙台 ダートラ練習会

曇ひとつない好天に恵まれた4月17日、CMSC仙台の初主催イベントが利府森郷の特設会場に、東北各県のモータースポーツ愛好家80名を集め開催されました。初主催ということで、本部より木全氏、CMSC山形より会長の小川氏とクラブ員の方々が応援に駆けつけていただきました。小川氏のデモランを皮切りに、木全、小川両氏による同乗走行、持ち込み車輛によるトライアル練習会と進み、初主催イベントも、全員の協力の輪で無事終了。次回イベントにも乞御期待あれ。

(CMSC仙台 初田昌子)



初主催、今野会長より挨拶



山形から小川氏、本部より木全氏も応援に。



チャレンジ・ザ・ワンメイク！サーキットで健闘するCMSC。

'88ミラージュカップ フレッシュマン・東北シリーズ

今シーズンのミラージュカップ・フレッシュマンシリーズと東北シリーズが、4月24日のスポーツランド菅生でのレースを皮切りにいよいよスタートした。'88シーズンは、フレッシュマンが全5戦、東北が全4戦開催されるが、4月24日の第1戦は、両シリーズの初戦を兼ねた大会であり各地より27台のワンメイク仕様ミラージュが集まった。CMSCの各支部からも、CMSC山形、小川日出生選手の乗る山形三菱ミラージュを始め、CMSC埼玉三菱コルト、CMSC栃木ミラージュ、仙台三菱トランビオミラージュ、CMSC埼玉CP川ロミラージュの各クラブチーム車が出場しサーキットでのバトルを展開した。またフレッシュマンシリーズ第2戦は、5月22日筑波サーキットにて開催され、本部より昨シーズン東北シリーズに参戦していた加藤元章選手も参加。出走27台中13位の成績に、東北とフレッシュマンレベルの差を強く感じていた。クラブ員の第2戦までの最高位は、小川選手の東北第2戦の4位。各チームの今後の活躍に期待したい。



車検を終えた小川日出生選手



CMSC山形・小川選手



CMSC本部・加藤選手



CMSC埼玉・長南選手



CMSC仙台・佐藤選手



CMSC栃木・川口選手



CMSC埼玉・清水選手

CMSC山形、昨シーズンに続きトップを独走中！

'88CMSCチャレンジカップの前半1～5月までの集計が各クラブより報告された。クラブ別ポイントでは、山形が309ポイントでトップ。このポイントの半数近くを稼いだのがダートラで大活躍の金田選手。何と120ポイントを獲得したが、スラローム部門では、

群馬の荒井選手がさらに上の140ポイントを稼ぎトップ。またラリー部門では、札幌の吉川選手が早くも64ポイントを上げトップ。前年度1位の大西選手は54ポイントで2位をキープしている。ダートラ、ラリーとも、好調のギャランVR-4、ミラージュの活

躍に合わせ、獲得ポイントもスラローム部門、ラリー・ドライバー部門共に、早くも昨シーズンの年間ポイントを上回るほど。クラブ員の積極的な参加と、好成績でますます楽しい今シーズンである。

●クラブ別獲得ポイント

	1～5月	6～8月	9～11月	12月	合計
帯広	71				71
札幌	129				129
青森	104				104
岩手	0				0
山形	309				309
仙台	20				20
福島	181				181
栃木	54				54
群馬	196				196
埼玉	11				11
岐阜	26				26
島根	77				77
香川	96				96

●ラリー・ドライバー部門

吉川 幸彦	札幌	64
大西 康弘	青森	54
菅野 茂	福島	40
小川日出生	山形	34
館山 正嗣	青森	30
千田 俊二	札幌	24
塩野谷浩光	群馬	24
及川 浩司	札幌	8
花沢 宏之	青森	4
福士 文秀	青森	4

●ラリー・ナビゲーター部門

佐藤 忠宣	福島	40
葛西 一省	青森	32
内田 昭佳	群馬	20
石田 隆雄	青森	4
巻口 実	札幌	2
石尾 寿一	札幌	2
永沢 裕之	青森	2
白戸 博史	青森	2
村山 豊	山形	2
佐藤 智昭	山形	2

●スラローム部門

荒井 信介	群馬	140
金田 至	山形	120
白井 修	香川	74
鈴木 功敏	福島	60
砂塚 明男	山形	42
佐藤 信一	福島	36
青沼 達也	帯広	36
杉坂 啓一	島根	34
塚原 勇	福島	28
杉山 敏夫	山形	27

●レース部門

小川日出生	山形	8
清水 潤	埼玉	4
川口 法行	栃木	4
金田 至	山形	2
佐藤 政一	仙台	2
相沢 いく	埼玉	2
長南 茂夫	埼玉	2

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
ポイント B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

A=ラリー………全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ
スラローム………全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMSシリーズ
レース………全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ
B=それ以外の競技会

↑リタイアには予選不通過も含む